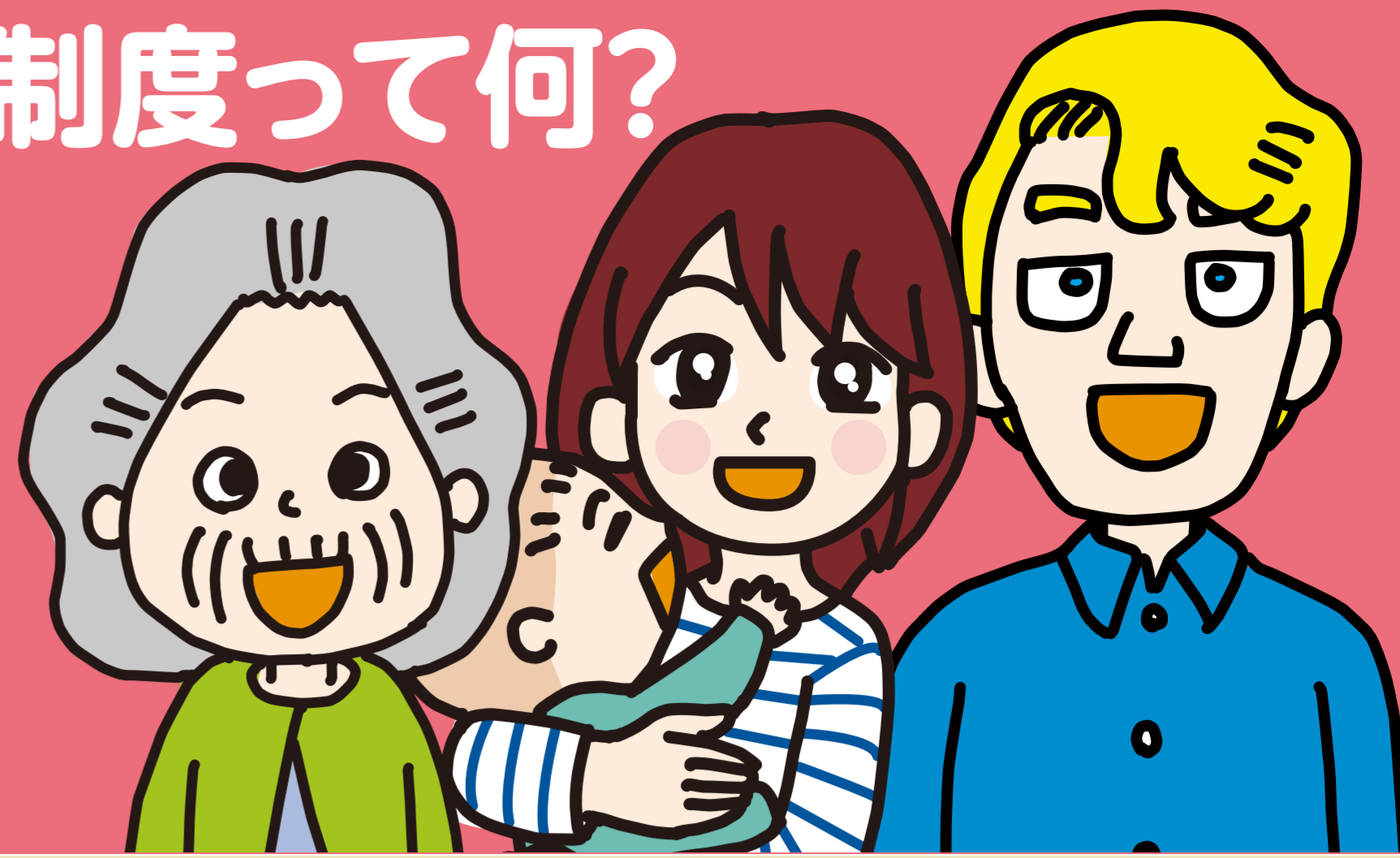


# 01

## 住宅セーフティネット制度って何？

# 概要編

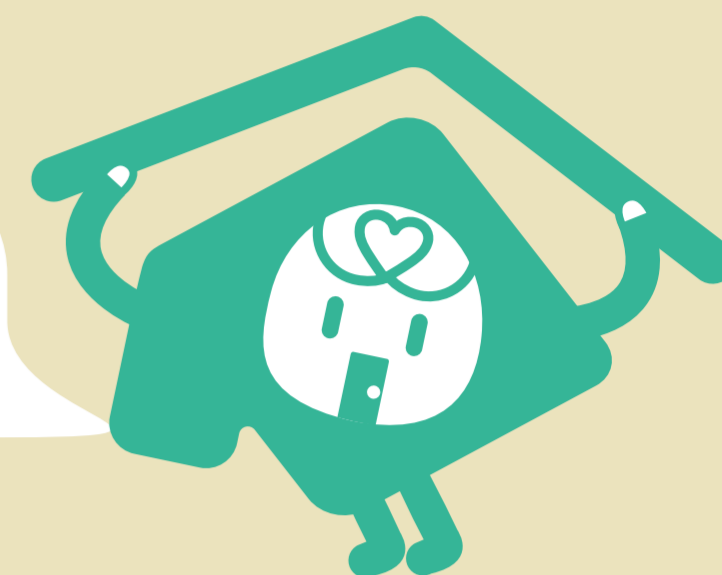


制度について簡単に説明するよ！



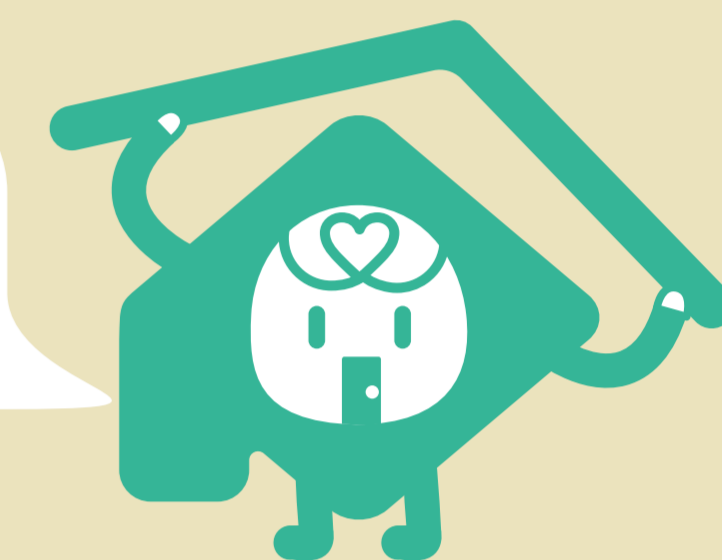
Q1.住宅セーフティネット制度って何？

A.住宅確保要配慮者が円滑に民間賃貸住宅に入居できるよう支援する制度です。

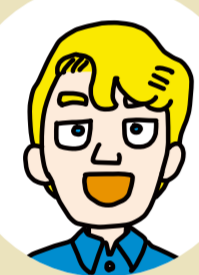


Q2.住宅確保要配慮者ってどんな人が当てはまるの？

A.住まいの確保に課題を抱えやすく、配慮を必要とされる方です。主に、以下のような方が該当します。



低額所得者、被災者(発災3年以内)、高齢者、障がい者、子を養育している者、外国人、児童虐待やDVの被害者、犯罪被害者、保護観察対象者、東日本大震災等の大規模災害の被災者など



Q3.どうしてこの制度はできたのですか？

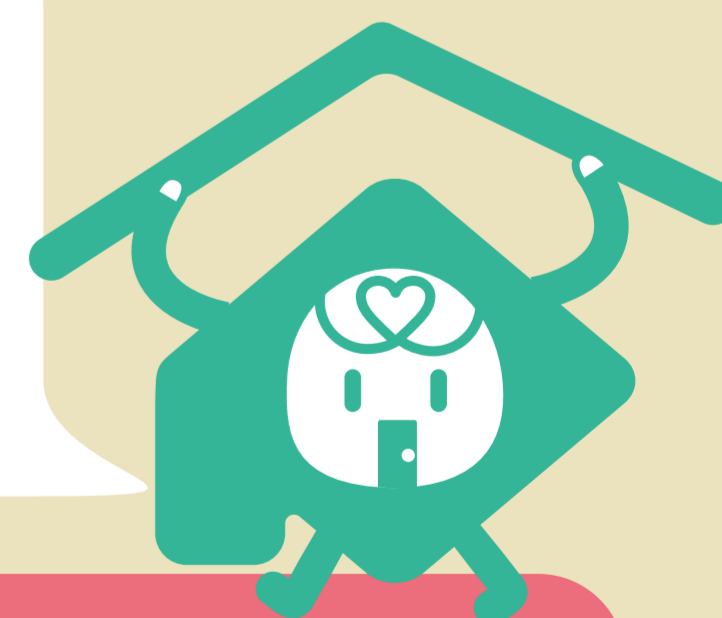
A.住宅確保要配慮者は今後も増加が見込まれる中、本来の受け皿である公営住宅の増加は見込めない状況である一方、民間の空き家・空き室は増加していることから、これらを活用する制度として生まれました。



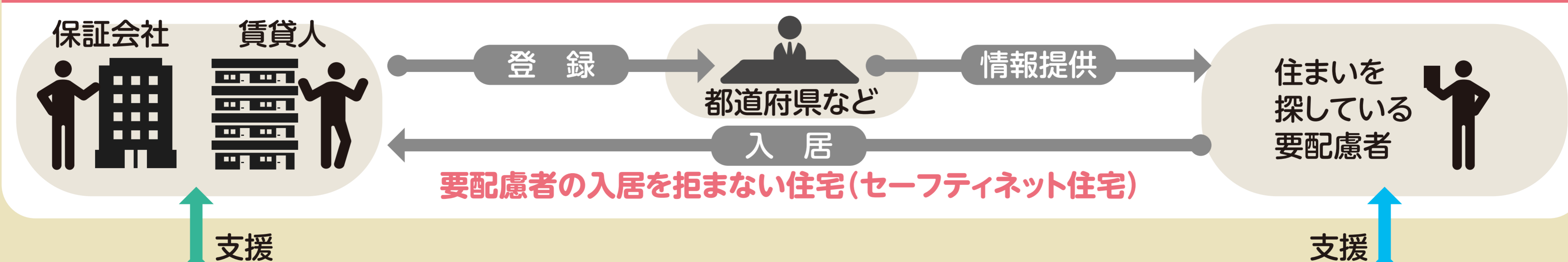
Q4.具体的にどんなことをする制度なの？

A.以下の3つの要素で構成された制度です

- ① 住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅を登録するシステム
- ② ①の住宅の大家や家賃保証会社に対する経済的支援
- ③ 住宅確保要配慮者の賃貸住宅への入居のお手伝いをする法人



### ①住宅の登録



### ②経済的支援



国と地方公共団体による支援

### ③入居支援



居住支援協議会・居住支援法人による支援